

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、「3」サービスマン評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
	1	玄関の防犯のための施錠と11番の身体拘束に十分な対応がとれない。	玄関の施錠を午前中午後と時期を決め解除する。	玄関の施錠の話し合い 全員の理解がとれ時期を決め 危険の少ない職員に強行する	3ヶ月
	2	身体拘束に悩む職員への周知徹底が不足している。	身体拘束に悩む職員全員が意識を高める	身体拘束のリスクを認識し ケアの研修に身体拘束を取り 入れ職員の周知徹底を図る	6ヶ月
	3	家族会存続の家族同士での意見交換が十分な場がない。	家族同士が意見交換できる場を作り家族の意見や要望を運営に反映させる	2ヶ月に1回開催している 運営推進委員会に半年1度 家族の参加を呼び意見を 聞く	6ヶ月
	4	年二回火災予防避難訓練を行っていただくが消防署の立ち合いや地域の人の参加が少ない。	消防署の立ち合いや地域の人の参加を促進し協力体制を築く	運営推進委員会において 自治会長や協力を得る 地域からの参加を促す	12ヶ月
	5				5ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の池を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。